

平成二十八年二月の作品（二月一二日（金））

於 アカデミー千石 学習室 A

早春の日差しに猫とさざれ石 （一江）

寒稽古古城の門を出入りて （清助）

ひと匙の露味噲うまし朝の飯 （正雄）

おんな坂梅ほころびる天神へ （貴美）

薄氷^{うすらひ}を静かに回す小川かな （前歩）

見はるかす雪の浅間や虚子旧居 （隆治）

新年会卒寿の翁締め立つ （正佳）

陽も人も家路急がぬ春日暮れ （奉男）

孫生まる神の御業や初御空 （平六）

炭くべし信濃の春の寒さかな （孝昭）

紅梅の香るむかふに光る海 （太郎）